

横浜で唯一の溪谷『陣ヶ下の秋』

日時：令和4年10月19日（木） 9時30分受付開始 10時頃出発

集合場所：相鉄線上星川駅 改札口前

コース案内：上星川駅→両郡橋→随流院→川島杉山神社→陣ヶ下溪谷→横浜水道記念館→
旧計量器室跡→蔵王高根神社→上星川駅(解散)

ポイント	ガイド概要
相鉄線上星川駅	相模鉄道「上星川駅」は大正15年(1926)12月1日開通。当時の駅名は「星川」だった。相模鉄道は大正5年(1916)神中鉄道として創業。相模川の砂利輸送を主な目的として設立した鉄道である。現在は大手私鉄15社に入り、横浜駅西口の発展に寄与している。
両郡橋	明治20年(1887)わが国最初の近代水道の創設に伴い、津久井郡三井村から横浜村まで水道管が敷設された。この時、帷子川に架設された橋が都筑郡上星川村と橋樹郡坂本村の境にあることから「両郡橋」と名づけられた。
随流院	川島山随流院は禅宗の中の曹洞宗に属し、本尊は聖観世観音菩薩、徳川家光公より3石余りの朱印地を下付され、現在も当時の朱印証箱、朱印札、年賀登城の際、使用した駕籠が本堂に保管されている。緑豊かな四季の風情が美しく、特に秋から冬にかけての紅葉がお奨め。
川島杉山神社	創建は不詳。天文年代(1532~55)、北条氏康が上杉軍との戦いの時、この地に陣を張った夜、日本武尊の東征の夢を見て、その加護により勝利は必定である。ここに祠を建てて武運長久を祈ったといわれている。
陣ヶ下溪谷	横浜で唯一の溪谷。保土ヶ谷の秘境。鎌倉時代、この辺り一帯は源頼朝の家臣である「和田義盛」が狩のために陣を張った所。昭和45年(1970)に一帯が市街化調整区域に指定され、緑がそのまま残された。ゲンジボタルも生息している。
横浜水道記念館	昭和62年(1987)横浜水道創設100周年を記念して公開された。明治20年(1887)日本で初めて横浜に近代水道が完成する。記念館では水道の歴史や技術が学べる。3階からは横浜の街が一望できる。
西谷浄水場 旧計量器室跡	横浜水道第二次拡張工事により、関内、山手、本牧方面に給水する配水量を測る装置を設置するために建設された。大正3年(1914)に建てられた煉瓦造建築は国の登録文化財に指定されている。
蔵王高根神社	創建は不詳。古くから坂本村に蔵王社と高根社の二社があり、村民に崇敬されていた。明治43年(1910)に矢崎村杉山神社に合祀されたが、昭和24年(1949)氏子の強い要望により再建された。

◆ 当日緊急連絡先：Tel・080-5003-7678（実施当日のみ）

万一事故が発生した場合、主催者が加入している保険の範囲以内の補償とさせていただきます。

主催 一般財団法人 神奈川県教育福祉振興会
協力 NPO 法人 横浜シティガイド協会

電話 045-228-7678

<http://www.ycg.com>

R4. 10. 19 ガイドと神奈川近郊を歩く（陣ヶ下溪谷）



01 上皇川駅.JPG



02 両郡橋.JPG



03 帷子川.JPG



04 陣流院.JPG



05 川島杉山神社.JPG



06 川島杉山神社.JPG



07 陣ヶ下溪谷公園入口.JPG



09 陣ヶ下溪谷（高架道路橋脚）.JPG



10 陣ヶ下溪谷.JPG



11 陣ヶ下溪谷.JPG



12 陣ヶ下溪谷.JPG



13 陣ヶ下公園.JPG



15 みずのさかみち.JPG



16 水の橋.JPG



17 水道みち向公台公園.JPG



18 旧配水計量室跡.JPG



19 横浜水道記念館（休館中）.JPG



20 西谷浄水場.JPG



21 水道坂.JPG



22 道中.JPG